

水の都・大阪周遊 map

みずのみやこ・おおさか しゅうゆうマップ



大阪市

インフォメーション

大阪市

- 建設局下水道河川部河川担当
TEL : 06 (6615) 6838 <http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/>
- ゆとりとみどり振興局
TEL : 06 (6615) 0615 <http://www.city.osaka.lg.jp/yutorimidori/>
- 交通局
TEL : 06 (6582) 1400 <http://www.kotsu.city.osaka.jp/>

大阪府

- 都市整備部河川室
TEL : 06 (6941) 0351 (代) <http://www.pref.osaka.jp/kasen/>
- 財団法人大阪観光コンベンション協会
TEL : 06 (6282) 5900 <http://www.octb.jp/>
- 大阪市ビクターズインフォメーションセンター
梅田 : TEL 06 (6345) 2189
難波 : TEL 06 (6631) 9100
天王寺 : TEL 06 (6774) 3077
新大阪 : TEL 06 (6305) 3311

●発行●大阪市建設局●平成21年7月

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪ワールドトレードセンタービルディング12F
TEL 06-6615-6838 (河川担当)
<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/>

再生紙を使用しています

水の都・大阪の魅力



大阪は、長い歴史の中で、川と産業・人・暮らしが結びついて発展してきました。市域の約1割を占める河川面積は、他の都市と比べても際立っており、大阪のまちづくりに十分活用しうる重要な資源です。

「水の都・大阪」の再生は、こうした資源を十分活用しながら、新たに景観づくりや賑わいづくり、環境づくりに努め、世界的にも稀な都心部を囲む河川（道頓堀川、東横堀川、堂島川、土佐堀川、木津川）を「水の回廊」として整備し、再び水を活かした新たな都市の魅力を創出し、大阪都心部の再生にもつなげていこうという取り組みです。

水の都・大阪エリアマップ

例

- 船着き場
- 公園・緑地
- D-1 水辺のスポット・観光拠点

D 道頓堀川、H 東横堀川、K 木津川
N 中之島(堂島川・土佐堀川)
O そのほかの川

0m 200m 500m



K-1 大阪市中央卸売市場本場
大阪市中央卸売市場本場は、全国の卸売市場の中でも最大の床面積を誇り、野菜や魚など年間約80万トンの食材が商われています。

K-2 昭和橋
67度の斜めになったアーチ橋で、大変複雑な構造となっています。

K-3 千代崎橋
明治時代は船を通すために引込み式の可動橋で「そろばん橋」と呼ばれました。現在の橋は、昭和2年完成。

K-4 大阪ドームシティ
大阪ドームシティは、ドームのほかに飲食店やアミューズメント施設が集積する、家族で楽しめるスポットです。

D-1 道頓堀川水門
平成13年3月に完成した水門で、東横堀川水門と対になって機能しています。水門の詳細な内容は裏面をご覧ください。

D-2 湊町リバープレイス
湊町リバープレイスは、なんばHatchを核とした複合施設で、その斬新なフォルムから水辺のランドマークとして親しまれています。

D-3 浮庭橋
湊町リバープレイスと南堀江を結ぶ吊橋。デザインと橋名は、一般公募による。平成20年完成。

水上交通

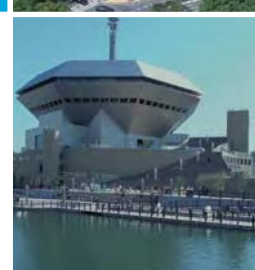


■水際の観光拠点
昔の大阪は、水運を利用して発展をとげました。そうした大阪の水際には、歴史的な建造物から新しい拠点施設が並び、様々な表情が感じられます。

■巡る水上交通
クルーズ船などの観光船や市民の足である渡船などからは、川筋を通してうらおいのある水の都・大阪の風景を見ることができます。



観光拠点



水の都・大阪の見所



自然環境

■舞台となる川
大阪では、川を舞台とした行事が数多く行われ、四季の風物詩として市民に親しまれています。歌舞伎の船乗り込みや天神祭など、川と一体となって賑わいます。



■自然環境
川は、都市における貴重なアメニティ空間です。大阪の川筋には、いくつもの緑あふれる遊歩道や公園があり、市民の憩いの場所として親しまれています。



祭典行事

